



岩国を開いた誇り高き 吉川氏一族

岩国高校同窓会
東京支部総会

平成29年10月21日(土)

岩 国 吉 川 会
幹 事 長 西 村 榮 時



吉川氏のルーツ



- 中大兄皇子（なかのおおえのおうじ）（のちの天智天皇）とともに大化改新（645）を成し遂げた中臣（藤原）鎌足（なかとみかまたり）
- 為憲のとき天慶の乱（938～940）、平貞盛・藤原秀郷に協力し平将門を討伐。
- 伊豆・駿河・遠江（現静岡県）の豪族として地位を確立。
- 経義のとき源頼朝挙兵に味方し、平家滅亡（文治元年・1185）鎌倉幕府創設に尽力。駿河国吉河邑（現静岡市清水区）を賜り、巴川右岸に居館を構え地名を姓として吉河・吉香と称す。



鎌倉武士の地位確立



- ・ 経義は鎌倉幕府御家人、鎌倉武士団の一員として奥州藤原氏討伐や頼朝に従い富士の巻き狩りに警護の武士として参加。
- ・ 正治2年（1200）、吉川一族の一大事。
頼朝の側近・有力御家人梶原景時は横暴を極め、頼朝没後（2代将軍頼家するとき）北条時政らに討伐される身に。
- ・ 梶原一族は鎌倉を脱し西国へ逃れる途中、駿河清見ヶ関で小次郎友兼（経義の子）らと遭遇。
- ・ 景時らは友兼その子・朝経ら吉川一族と戦闘。



狐ヶ崎の戦い 友兼、景茂を討つ！



- 友兼と景時の三男景茂は「狐ヶ崎」で激しく戦い、遂に討ち取ったものの自らも深手を負い翌日死亡。景時らは夕日無山（梶原山）に逃れ自刃。
- 景茂を討った太刀は、備前青江為次の作、鎌倉時代を代表する名刀。戦場に因み『狐ヶ崎』太刀（国宝）。
- 革巻黒漆塗り太刀拵とともに吉川家に伝えられ、吉川史料館でときどき展示。
- 友兼の子朝経には梶原氏の所領・播磨国揖保郡福井荘（現兵庫県姫路地方）の地頭職に。

梶原殿を
打ち果たせるかな...
梶原兄弟とは
かつての我が同志じゃ

のう 為次よ
あしの命にかえても
吉川の家名を
守ろうぞん!

吉川小次郎友兼

蘆原





鎌倉本體の武士

梶原景時終焉之地



**名馬摺墨に乗った梶原景時のレリーフを説明
吉川治郎氏（高減寺）**

吉川氏館跡

吉川館は古宮を西北隅とし東西約一八〇メートル(二〇〇間)南北約二四〇メートル(三〇〇間)ぐらいの長方形と伝えられ現在のの上の段がこれに当る東方の川流が八津沢川の名残ではなかろうか? この時代の東海道は、今の北街道であり是より能島の地を通つて巴川は、網を手に繰る繰舟を用いて渡つたと考えられ能島の八幡社を繰崎八幡と称しこの所を舟越と言つた尚、吉川の小字に繰崎舟戸の地名がある。昔は有渡へ渡る重要な幹線であつたと考えられる。この所は初代経義が寿永二年源頼朝より賜り館を築き以後北朝年号康永四年、南朝年号興国五年(西暦三四五年)まで約一六〇年間居住したと考えられている。(参考)寿永二年は一二八三年で木曾義仲京都に入る年(参考文献)有度郷土誌旧有度村。静岡県の歴史中世編静岡新聞社による。



昭和十九年一月

有度まちづくり推進委員会
有度公民館歴史クラブ



吉川氏四代が埋葬されている墳墓



承久の乱（1221年） 起こる！



- ・ 経光（朝経の子）は京都宇治橋の戦いで勝利し、功績で比叡山西塔の所領安芸国大朝本荘（現広島県北広島町）の地頭職。
- ・ 駿河・播磨（はりま）・安芸三ヵ国を支配。
- ・ 経光には5人の子。正和二年（1313）、長男経高は駿河を五男（経時）に預け、次男（経盛）に播磨を統治させ、自らは三男（経茂）四男（経信）を従え安芸国大朝本荘に入る。
- ・ 4代にわたる約130年間の駿河時代を終え、安芸吉川氏始まる。



吉川氏の系図

藤原鎌足 — 不比等 — 武智磨 — … — 為憲 — … — 維清
(入江氏)

… — **経義** — **友兼** — **朝経** — **経光** —
(吉川氏)

経高 … **興経** — **元春** — **元長** — **広家** … **広嘉** … **経幹** … 重幹
(安芸吉川氏) (初代岩国藩主) (当主)

経盛 ……
(播磨吉川氏)

経茂 …… 経家 …
(石見吉川氏)

経信 ……
(境吉川氏)

経時 ……
(駿河吉川氏)

安芸吉川氏は

- 安芸に下った吉川氏（本家）は、室町・戦国時代を大内氏や尼子氏など有力戦国大名に囲まれ苦戦しながら、毛利氏と血縁し生き抜く。
- 吉川元春（毛利元就の次男）は、小早川隆景と協力し毛利氏を中国地方一円支配の120万石の大大名に。毛利氏は豊臣秀吉の軍門に。
吉川広家は秀吉の命で、278年間の居城安芸国（大朝本庄・新庄）を去り、出雲国月山富田城（島根県安来市）に移る。その後、関が原合戦ののち岩国に。

本丸井で170m 駿河丸城跡

駿河丸城跡
本丸井で170m

この地は、戦国時代、駿河の戦国大名・徳川家康が、駿河丸城を築いたと伝わる。本丸井は、城跡の中心部にあり、井戸の深さは170mと伝わる。この地は、戦国時代、駿河の戦国大名・徳川家康が、駿河丸城を築いたと伝わる。本丸井は、城跡の中心部にあり、井戸の深さは170mと伝わる。



吉川元春公居館跡

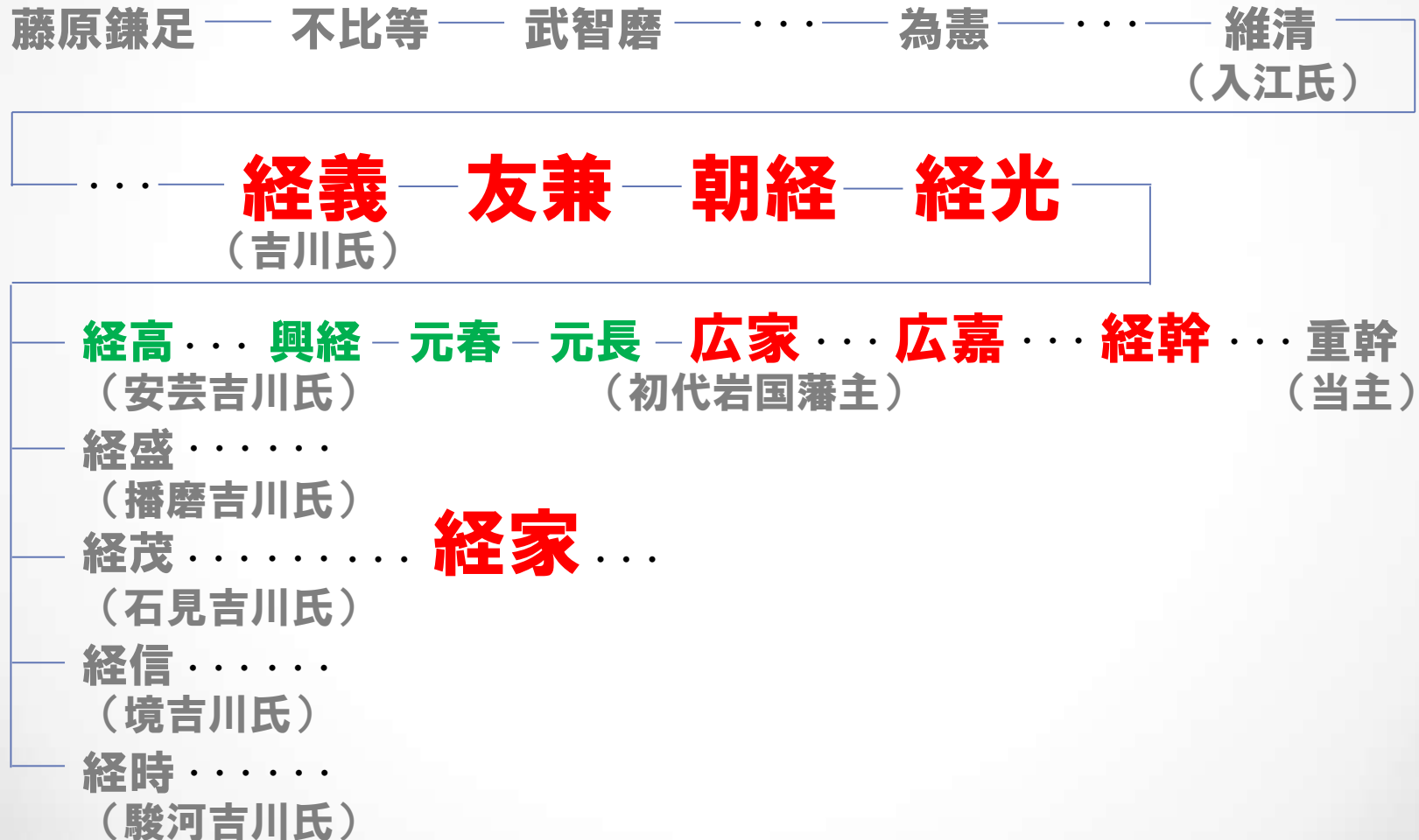


岩国藩鉄砲隊の火縄銃実射演武

**岩国市の姉妹都市を
知っていますか？**

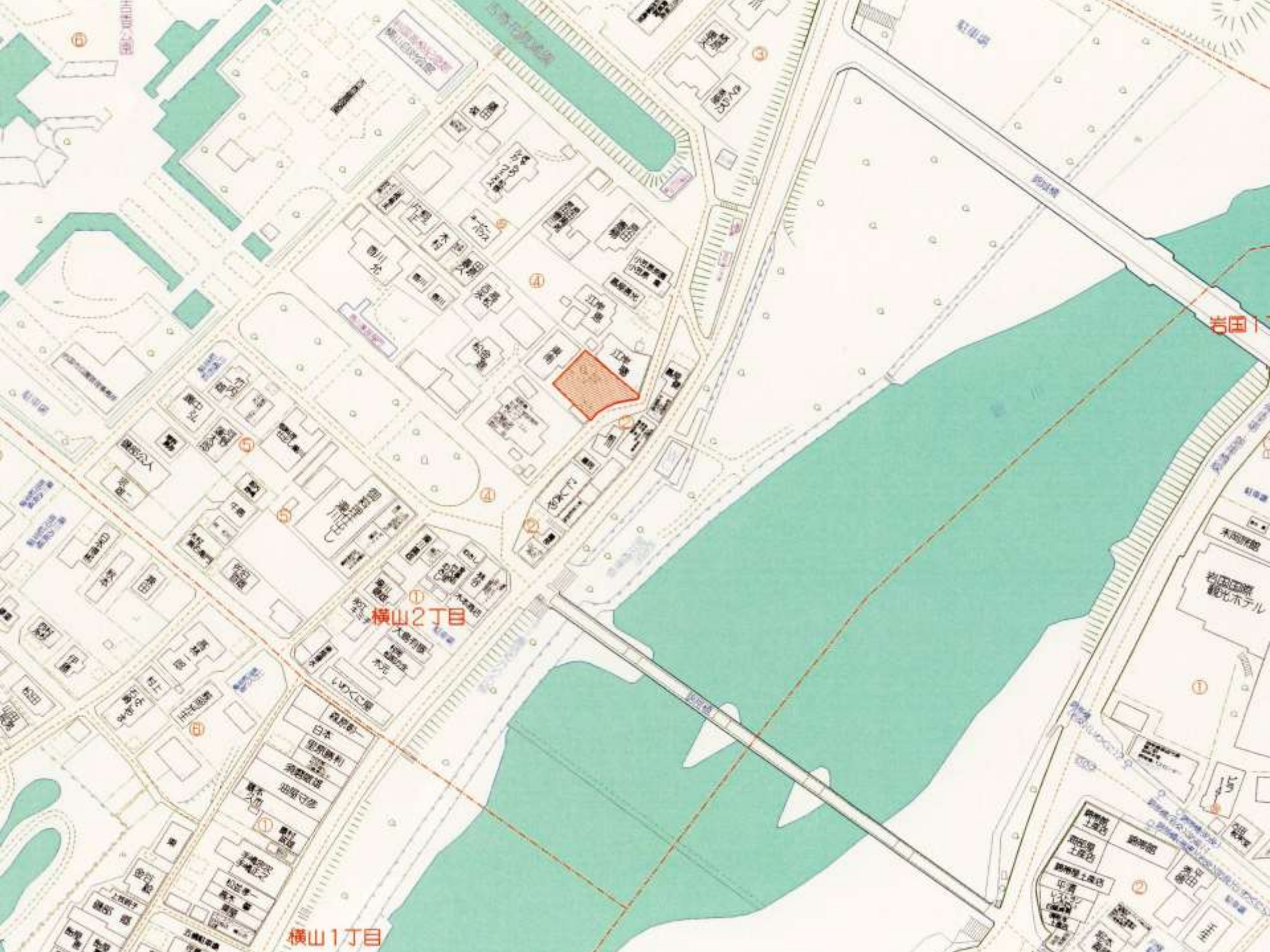
それは・・・鳥取市！

鳥取城将吉川經家公系図





吉川経家公弔魂碑（岩国市横山）



鳥取城渴殺し

- 天正9年（1581）、全国制覇を目指す織田信長は畿内（近畿地方）を制圧し、いよいよ中国地方一円を支配する毛利氏攻略へ。
- 総大将は羽柴秀吉。鳥取城は兵糧攻めとし、城下の食料を買占め。3万の大軍を率い進軍。
- 城主山名豊国は降伏を決意。
- 家臣団は断固戦うべしと豊国を追放。吉川元春（毛利元就次男）に新たな城将派遣を要請。
- 白羽の矢は、石見国福光城（不言城）主（島根県太田市温泉津）吉川経家。
- 400名の手勢を率い鳥取城に。城内は兵士・領民
- 約3000名。

自らの命で家臣・領民を救う

- 秀吉の大軍は包囲し（7月12日）補給路を断つ。籠城3ヶ月、穀物は食べつくし、餓死者。
- 自らの命と引き換えに家臣・領民の助命を嘆願。秀吉は『迎え入れられた城将に責任はない』と促すが、経家は『城将としての責めが果たせない』と遂に（10月25日）切腹。
- 経家の首は安土城信長のもとに。信長は「名誉ある侍の首実驗。見物あるべき」と称賛。
- 鳥取城の家臣・領民は無事解放。
- 経家の遺族はのちに岩国に迎え入れられ、子孫は藩政の重臣として活躍。

鳥取城址に経家銅像建立 岩国市・鳥取市 姉妹都市へ！

- 鳥取にとって、【吉川経家】は恩人！
- 平成4年より、「しゃんしゃん傘踊り」が岩国まつりに参加。
- 平成5年10月25日（経家の命日）、413回忌法要。【経家】の末裔も来賓として参加。
落語家三遊亭円楽師匠・吉川稲女史。
- 久松公園（鳥取城址）内に銅像建立。

平成7年(1995年)10月13日、岩国市・鳥取市
は姉妹都市縁組調印！



鳥取城将 吉川經家公銅像



鳥取しゃんしゃん笠おどり（岩国まつり）

400年前の出来事 姉妹都市を誕生！

岩国市・鳥取市は両市で同日、姉妹都市縁組調印式。
(当市の国内唯一姉妹都市)

アメリカワシントン州
(エバレット市)
ブラジル
(ジユンティアイ市)
中国江蘇州
(太倉市)



平成23年4月29・30日 第1回吉川交流会開催！

《錦帯橋まつり》に吉川に縁ある地域から参集。

- ・ 駿河吉川会（静岡市） ・ 鳥取吉川会（鳥取市）
- ・ 不言城会（太田市） ・ 安芸吉川会（北広島町）

平成25年10月19・20日

第2回 広島県北広島町

経高が正和2年（1313）移住し700年。

平成27年10月24・25日

第3回 島根県太田市温泉津

平成29年10月28・29日

第4回 静岡県静岡市

切手

印紙

2012/04

ご当主吉川重幹様

妻沼聖天山の貴惣門

- * 熊谷市妻沼(めぬま)聖天山は12世紀に齊藤実盛が聖天さまをお祀りしたお寺。
- * 本殿は見事な極彩色に彩られ、建物は国宝。
- * その総門『貴惣門』は岩国藩作事棟梁『長谷川重右衛門』が設計し、嘉永4年(1851)建設。国の重要文化財。
- * 何故こんな遠方に…
- * 寛保2年(1742年)、関東一帯が超大型台風に襲われ、利根川が氾濫し…。



長谷川重右衛門

錦帯橋架け替え工事の棟梁



埼玉県熊谷市妻沼(めぬま) 聖天山歓喜院の貴惣門(きそうもん)





谷中霊園には・・・

初代大審院長
玉乃世履之碑
岩国藩出身
1825年—1886年

初代大審院長 玉乃世履の碑



岩国の象徴【吉川家】



**錦帯橋創建をはじめ2000町歩の大干拓、
殖産興業を奨励し、積極的に育英事業を行い
今日の郷土繁栄の基礎を築いた吉川氏。
連綿と続く吉川氏への理解を深め、郷土を離れた
皆さんにも郷土の誇りの一つにしてほしい。**

ご清聴に感謝